



# 同窓会会報

第23号

昭和52年5月15日  
発行所 茨城県東茨城郡  
内原町舞洲5065  
鯉淵学園同窓会  
印刷所 柳 双葉印刷所

## 全会員の一口募金を 待望の会館建設は目前に

鯉淵学園同窓会会長  
和田 文雄

### 全国同窓生の皆さん

私たちの同窓会館の建設は目前に迫ってきました。目下、応募会員は約五百五十名となり応募募金額も七百万円、目標額の二二・三%となりました。

会館の建設は七月以降着工し、十一月初旬の同窓会大会（定例は三日、今年五、六の土・日曜日となるか未定）において会員の前にその待望の姿を披露する予定となっております。

去る四月十五日、昭和五十二年度の新入生百三十四名が入学致しました。一語に承られた父兄は七十余名でしたが、学園に宿泊はできませんでした。こんなとき安心して泊れる施設があったらとつくづく感じました。また新しく父兄となつた同窓生も友部の旅館に夜九時過ぎまで泊りにゆきました。

### 支部別期別に目標達成を

支部別期別の応募状況は別掲しましたが、昨年七月募金趣意を会員各位にお伝えしたとき、支部長各位には支部の達成目標額が示してあります。基本的には一会員一口の応募額に支部会員数を乗じた金額です。若干の変動があると見てその変動には支部を単位に目標達成に努力して下さいるようお願いした次第です。

幸い、募金開始以来、各支部で活潑に行動されておられますので目標達成は間近のものと感じておりますが特に同期の仲間でご相談願って戴くようにして下さい。学園に残って教育になつておられる同窓生が非常に多額の募金に一人残らず応募されたことは会館前号でご承知のことと存じますが、学園に残っている人々には、日夜の教育、農場の経営にこ

苦勞を煩わしています。最近では幾分、給与待遇も向上はしていますが、つい最近まで学生の小遣いと先生の給料は同じだといわれていました。現在も経済的に決して豊かに報われているわけではありません。しかし、こうした施設の必要性、遠来の同窓生を迎えたときの心境がこの募金にあらわれたものと思えます。学園に残って母校の発展に努めておられる同窓生の「苦勞」にもまた感えるものとして全会員の募金をお願いする次第です。

### 学園の先生からも申し出が

学園の先生方も十年、二十年事業のときは募金の呼びかけはあったが、今度は呼びかけてくれないのですかと聞かれますが、あるいはお力をおかりすることはあるにしても、この事業は同窓生の手で力ですることにしてはいますとお答えしています。私たち同窓生の一致した方で会館を造りあげ、学園の先生方の「芳志」は会館に華をそえる記念品をお受けするようにならしたとも考えられるのですがいかがなものでしょうか。

さて、会館の建設の場所ですが当初の子定では田男子職員寮（松花寮）跡としていましたが来賓宿舎の西側で田嶋品倉庫跡が一平方メートルほど空地となつていたので、来賓宿舎と一体とした施設とするよう設計してはどうか、またその方が本部事務室等との距離や管理の上で都合がよくないかという意見がありますので設計図をつくる上で検討してゆきたいと考えています。

### 進捗計画、建物、什器等について是非

進捗計画、建物、什器等については是非施工をさせてほしいという同窓生の申し出を受けています。全国の同窓生の中で募金とは別に是非、同窓会館という記念事業の施工をしたいといわれる方も多いかと思いますので、不公平のないように事務局でご芳志の場合も、また施工費についても受付けることに致しますので申し込んで戴きたいと思えます。同時に建設にあたっての知識技術やご注意も是非お寄せ戴きたいと存じます。

### 将来の学園発展の礎として

募金額が一口一万円は高額にすぎるとの批判もありましたが、期別に応募状況をみましてご無理はあると思えますがならして応募されていることから、大変同窓生各位の理解ある同意が得られたものと存じておりますが、それでも尚心苦しいものもあります。しかし、現在までの学園をふりかえつてながめ、将来の学園を想うとき、これはどうしても必要なものであるし、同窓会の目的達成のためにも、是非盛りあげなくてはと思えます。

全会員が一口一万円を合言葉に期日までに目標額が達成されますよう、支部役員各位、期別の世話人各位、職業上連絡のとり易い方々の特設のお世話、をお願いいたします。送金などお手数は存じますが、会員各位が期日までに目標額を下さるようお願い申し上げます。そして十一月、待望の同窓会館で共にお祝いしようではありませんか。

## 伊福 靖さん(四期)

### 『農学博士』の学位を取得さる



和歌山県経済農協連の食品工場に技術本部長として勤務する伊福さんは、日頃の努力が実って、去る三月二十六日、九州大学から農学博士の学位証が授与された。

伊福さんは、ミカンジュースの製造法で、ミカンの皮をむいて実だけをすりつぶす「チップパーパルパー方式」とミカンに穴をあけて皮ごとつぶす「インライン方式」の二方式について徹底的に分析し現在採用しているインライン方式では皮についている油脂がミカンジュースの品質に決定的な影響を与えていることを突き止めた。それを科学的にコントロールすることに よってジュースの色や香りをそこなわない高品質のジュースをつくる方式を実践的に理論づけた。

「身近なものがよくわかっていない。わたしはそれを調べただけ」と話す伊福さんと新聞は報道しておりますが、実際は研究機関ならいざしらず、大変な努力があったものと想像される。

伊福さんのような同窓がいることに誇りをもち心から祝福を述べようではないか。

## 卒業予定者の就職斡旋について

### 就職斡旋委員会

諸兄、ますます二健在のことと推察申し上げます。

学園も、諸兄のご協力のお蔭で本年度一三四名を受入れ、全体定員三六〇名をオーバーすることになり、食堂前は、朝から行列ができる盛況を呈しております。建学以来はじめての、文字通り記録的な現象です。

ところで、これらの後輩にとつては、

卒業時各自の希望、適性に合った職業に、一日も早くありつけてこそ学園入学が意味をもつことであり、また学園にとつても、建学理想の社会化につながることであります。

他方、日本経済が低成長時代に入るに伴って、数年前までのように、娘一人に婿一〇人という具合にはいなくなつてきております。

そこで、学生の就職斡旋業務を強化するため、従来学生生活課生活課の一業務であった就職斡旋を、各コース主任が責任者となって進めるため、委員会方式に改めることにいたしました。具体的には以下の通りです。

園芸コース 岡 教授  
畜産コース 藤田 教授  
生活栄養科 白田 教授  
相互調整係 築島 教授  
事務局 古賀 助手

したがって、今後後輩の就職関係の情報等は、右の系統を通じて連絡していただければ、能率的に対応ができますので、よろしくお願い申し上げます。

なお、近日中に、府県単位に、新三年生の就職希望一覽表を作成し、各支部長宛に送付し、情田のご協力をお願い申し上げます。何分にもよろしくお願い申し上げます。

(築島 記)

### 学園人事異動

退職 山本幸信(二七期)  
昭和五十二年三月三十一日付  
採用 山本英治(三二期)  
昭和五十二年四月一日付  
(稲農場)

### 着信電話の設置について

このたび電話の混雑を緩和するための着信電話の設置をお願いします。このほど男子寮、女子寮に設置されました。学生との連絡は着信専用電話をご利用下さい。

男子寮 ○二九二五九 五五〇三  
女子寮 五五〇四





# 鯉淵学園の近況

出席を得て入学式が  
挙行されました。

昭和五十二年度の  
入学者は百三十四名

一、第三十一期生卒業  
去る三月一日、学園は本科九十一名、  
選科二名、専攻科一名の計九十四名を社  
会に送り出しました。

新卒業生の就職状況については第一表  
の通りですが、九十四名のうち、農業自  
営者三十四名を除いた就職希望者六十名  
についてみますと、三月二十五日現在も  
なお、就職未定者が十九名あり、率にし  
まして三十一・七%と就職難が学園卒業  
生にも重くのしかかってきております。

尚卒業生の殆んどが出身県に帰り、県  
外への就職者は二名、何れも東京です。  
二、第三十四回入学式挙行  
去る四月十五日、多数の来賓と父兄の

表1 計開生 就職調査状況 日 1952

年度	卒業生	就職希望者		就職者		就職未定者	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
昭和50	91	60	66%	34	37%	27	29%
昭和51	94	60	64%	34	36%	30	32%
昭和52	134	60	45%	34	25%	70	52%

で、出身県別についてみると北海道・青  
森・宮城・東京・石川・静岡・徳島・大  
阪・奈良・和歌山・岡山・山口・徳島・  
愛媛を除く府県から入学しており、出身  
校別では農業高校六十%、普通高校四十  
%となっています。また、入学者の中に  
は同窓生の子弟が多数あり、年とともに  
増加の一途をたどっております。

尚、昭和五十二年四月末現在の在学学  
数は第二表の通りです。

三、諸施設  
会報第二十号で昭和五十年三月までの  
整備状況をお知らせしましたが、それ以  
降も施設整備が施行されておりその状況  
は第三表の通りです。

昭和五十一年度は、計画として学生食  
堂及び浴場他数点の国庫補助を申請いた  
しましたが、人件費補助の要請を優先的  
に行ったために、施設については計画の  
変更を余儀無くされ、男子寮とし、本年  
四月から入寮しております。

昭和五十二年度も前年と同様で女子学  
生寮を建設することが決定しており、改  
善計画にある学生食堂及び浴場・本館・  
講堂等は先にのびそうです。

それにして入学式が行われた講堂は  
物資運道の昭和十年代後半つくられたも  
のと思われたいなみひどく、使用されて  
いる椅子も重い木製で、これを利用する

表2 在学人数

年度	男子	女子	合計
昭和50	100	100	200
昭和51	100	100	200
昭和52	100	100	200

精神論は貴重にしても現在の教育機関で  
は余り例がないものになりつつありま  
す。

四、農場  
昭和五十一年度は異常気象にたたられ  
全社的に作物の生産は計画を下まわりま  
した。

園芸農場についてはみますと、男子寮前  
の閑雑地に陸田百五十アールを造成して  
経営の安定化につとめ、また異常気象の  
影響を受けない部門や販売価格に支えら  
れたたり、ビニールハウス部門が軌道に乗  
ったこともあって経営収支は当初予算を  
上まわる成果をあげることができました。

酪農場については前述の通り、自給飼  
料の生産に異常気象の影響を大きく受け  
ましたが、乳牛には夏の低温が幸いし、  
牛乳生産量二百八十トン余と農場開設以  
来の生産を記録しました。

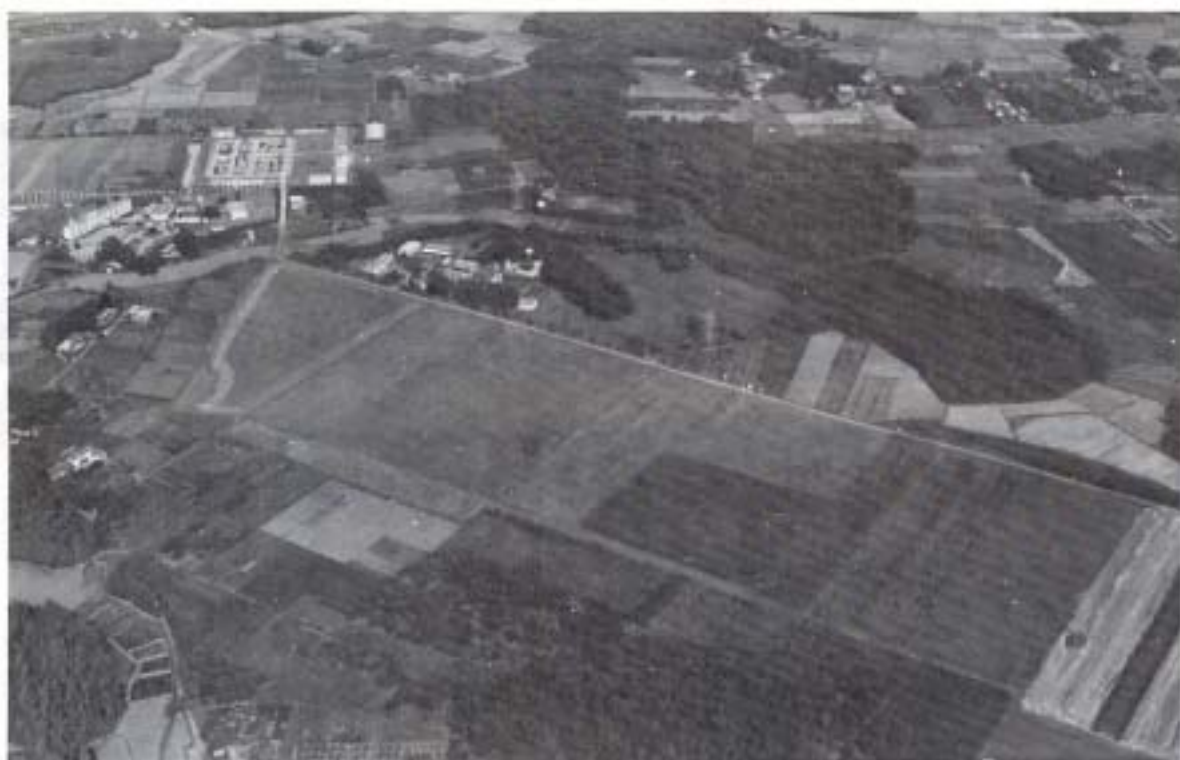
五、その他  
学園発足当時から大半の職員が学園住  
宅に起居し、学園の全寮制とともに学園  
部活を構成して、これが学園教育の特色  
としてあげられてきましたが、近年、時  
代の流れとともに自宅から通勤される職  
員がふえ、労使交渉の場面で学園勤務者  
にも通勤手当を支給せよの要求が年中行事  
のよう行われていることからそのこと  
を物議っております。学生生活につい  
ても学生気質や学園環境の変化によって職  
員宅を訪問することも減り、前述した学  
園教育の特色も徐々に失われようとして  
おります。

第3表 諸施設新築一覧表

年度	名 称	規 模	工事費
50	農機具修納庫	126.9㎡	6,510千円
	堆肥舎	140.0㎡	5,290
	変電所及び配電設備	1 式	16,900
	飲料水除鉄装置設備	1 式	5,905
51	男子学生寮D棟	370.03㎡	31,250
52	女子学生寮	308.16㎡	31,000

同窓会館の設立は、これを有効に活用  
することによって、職員と学生が、全国  
各地で活躍する卒業生と学生が職員が気  
軽に交流する場として役立つことになり  
学園の教育にも大きく寄与する点で、そ  
の期待は大きいといえましよう。

住宅に起居し、学園の全寮制とともに学園  
部活を構成して、これが学園教育の特色  
としてあげられてきましたが、近年、時  
代の流れとともに自宅から通勤される職  
員がふえ、労使交渉の場面で学園勤務者  
にも通勤手当を支給せよの要求が年中行事  
のよう行われていることからそのこと  
を物議っております。学生生活につい  
ても学生気質や学園環境の変化によって職  
員宅を訪問することも減り、前述した学  
園教育の特色も徐々に失われようとして  
おります。



酪農場を上空より撮す

## 事務局だより

### 事務局からのお願ひ

#### 一、会費納入について

前回の同窓会大会において、会費半五  
百円を千円に値上げすることが決定しま  
したことは、既に会報をもってご報告い  
たしました通りです。丁度三十周年記念  
事業の記念募金実施と重なり、どちらか  
という募金を中心と呼びかけてまいり  
ましたので今迄になく会費納入率が低  
なっております。

会費の納入については大会の都度とり  
あげられ、とくに会員数と会費収入額の  
不一致が議論的となってきました。ま  
た納入率を高める方法についての意見は  
既に実施済のものも多く決め手のないの  
が実情です。

会員各位の進んでの協力が、会員一人  
一人必ず納入するを自覚していただくこ  
とが肝要です。今迄に会費納入がとだえ  
た皆さんには、未納分をさかのぼってと  
なると大変なので、とりあえず大会から  
大会までの二年度分、二千円を納入して  
いただくようにしております。

会費納入率を高める方法は事務局の姿  
勢にあり責任を痛感します。幸い昨年よ  
り学園から同窓会事務局協力の職員を置く  
の協力を得られ、事務局としても信頼さ

れるよう一段の努力をいたしたいと思ひ  
ます。

昭和五十一年二年度会費未納となつて  
いる皆さん、会費は二千円です。同封の  
振替用紙を利用して納入して下さい。

#### 二、住所の変更について

会報を皆さんに発送いたしますと毎回  
のように百通程度もどつて来ます。反面  
住所変更届の提出は少なく会員住所の把  
握に苦慮しております。苦勞も水のあわ  
となることも残念です。

住所、勤務先変更の場合、必ず理学院  
園同窓会事務局宛に変更届をお願いしま  
す。

#### 同窓生の逝去

多田喜彦氏（六期茨城）

去る二月二十七日、脳溢血にて急死。

斉藤中世氏（四期東京）

去る四月二十三日、心臓硬塞にて急  
死。

両氏の逝去をご報告し、心から  
哀悼の意を表します。